



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・ご自身の試料（血液・髄液等）や情報を提供したくない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

脳内鉄沈着神経変性症(SENDA/BPAN)と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

脳内鉄沈着神経変性症(SENDA/BPAN)の病態メカニズム解析

【研究責任者】

本田真也(東京科学大学・病態細胞生物学研究室)

【本研究の目的及び意義】

脳内鉄沈着神経変性症は進行性の難病で、根本的な治療法は存在しません。病気の原因は、タンパク質の分解がうまくできないことであると考えられています。本研究では、私たちの発見した新しいタンパク質分解機構とこの病気に関連を、患者さんからいただいた細胞を用い解析します。この研究から、この病気の詳細な発症機構が明らかになり、新たな治療法の開発につながると考えています。

【本研究に提供する試料・情報】

リンパ芽球

性別、年齢、診断名、既往歴、家族歴、服薬情報、心理検査の結果

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2030年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

東京科学大学

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)